

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2022年5月11日

事業所名 八尾市立障害者総合福祉センター(放課後等デイサービス)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	88%	0%	おもちゃ等を置き自由に遊べるスペースと、のびのび体を動かせるように物を置かずに広々としたスペースをつくり、特性に応じて使用しています。	
	2	職員の配置数は適切である	75%	0%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	88%	0%	館内はバリアフリーで段差などないようにつくられています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	50%	13%		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	88%	0%		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページにて公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	75%	13%	放課後等デイサービスとして直接第三者評価を受けたことはまだないが、法人事業全体として第三者評価を受審したことがあります。また、日々の活動においては、保育士視点だけでなく、作業療法士からの視点で評価を受けています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	75%	0%		令和4年度も支援を学ぶ機会としてワークショップを計画しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	定期的にあセスメントを見直しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	88%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	88%	0%	定期的ミーティングをし、話し合っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	感触遊びなど、子ども達の特徴を把握し、その日の子ども達の特性を考慮して実施しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	63%	0%	当日は時間的に難しいことが多いので、翌日の午前中に振り返りを行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	88%	0%		
18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100%	0%		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	88%	0%	主治医からの指示書をもとに看護職員を中心に体制をとっています。看護職員とは連携を密にしています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	75%	0%	今はコロナ禍のため、直接会うことは難しいが、何かあれば電話などで情報共有しています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	75%	0%	今はコロナ禍のため、直接会うことは難しいが、何かあれば電話などで情報共有している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	13%	38%		コロナ禍により日常生活に制限がある中で、現在は交流する機会がありませんが、以前は地域の行事に参加する機会もありました。コロナ禍が終息すれば、また地域行事に参加したり、地域の方を招いたりという交流も行っていければと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	50%	13%	コロナ禍のためリモート開催であったが参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	気になることがあれば電話で連絡するなど共有するようにしています。また連絡帳にも様子を記載するようにしています。保護者からの要望があれば、職員間で共有するようにしています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	88%	13%	気になることがあった場合、保護者とも連絡をとり、関係を築くように努めています。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に書面にて説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	何かあれば電話などで相談にのり共有しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	38%	38%	コロナ禍のため実際に集まるような活動は控えているが、何かあれば電話などで連絡、共有しています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	88%	0%	「きずな新聞」を発行し、活動の様子など写真入りで分かりやすくお伝えするようにしています。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	88%	13%		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	75%	0%		「きずな新聞」に避難経路を掲載し、見ていただくようにします。また、マニュアルの公開など今後検討します。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	25%	0%		コロナ禍のため実施できていなかったが、令和4年度には実施予定です。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	75%	13%	虐待防止の研修にリモート参加した職員から伝達を受け、資料を確認し、虐待対応について学んでいます。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	やむを得ない場合、事前の説明を必ず行うようにしています。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	伝達ノートに挟み、必ず職員が確認するようにしています。	